

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	007825	担当課等	公園課							
事務事業名	公園長寿命化計画事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	IV 計画的な土地利用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	町民や公園利用者の安全安心のため、公園施設の健全度等を把握し、計画的な維持管理を行えるようにするもの。								
対象	公園利用者								
内容	長寿命化計画を策定し、それに基づいた補修等を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	9,190,800	2,950,336	4,950,000	
コスト 人件費	常勤職員	1,357,020	649,551	619,143	
	会計年度任用職員等	0	0	0	
	人件費合計	1,357,020	649,551	619,143	
	総事業費	10,547,820	3,599,887	5,569,143	
財源内訳	国庫支出金	4,000,000			
	県支出金				
	地方債		1,900,000	4,100,000	
	その他特定財源				
	一般財源	6,547,820	1,699,887	1,469,143	
	財源合計	10,547,820	3,599,887	5,569,143	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
公園点検回数	早急な危険回避	回	13	13	13
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
補修等施設整備数	遊具の安全性向上	基		4	9

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 健全度判定が低い遊具や施設を補修及び撤去することは、施設管理者の義務である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 補修を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減が図れるので、十分効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 補修及び撤去を行うことにより、利用者の安全が確保されるので、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 年代や利用時間を問わず利用可能な施設につき、受益の機会が均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	健全度判定に基づき補修等を行ったことから、ライフサイクルコストの縮減及び安全確保ができています。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	計画の策定は委託としているが、その後は工事を行うこととなり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	策定した長寿命化計画に基づき、補修工事を行った。	
令和3年度以降の方向性	策定した長寿命化計画に基づきつつ、毎年の点検結果や劣化状況も加味し、国の交付金を活用して補修等工事を行う。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	策定した公園長寿命化計画を基に、計画的に補修等工事を行うことにより、安全性を高めることが可能。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

公園の維持管理については、優先順位を定め、計画的に修繕等を行う。
----------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	011174	担当課等	公園課							
事務事業名	公園施設改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て 支援	(1) 子どもたちが生き 生きと育つための 環境づくり	② 健全な遊び場や交流 の場の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	公園利用者の安全性の確保すると共に、公園施設の利活用及び有効利用を図るもの。								
対象	公園利用者								
内容	不具合や動物の糞被害が発生している砂場について、人工芝へ改修し、施設の利活用を図るもの。 また、広場にある既存の簡易バスケットゴール施設を撤去し、広場以外の空きスペースにバスケットボールコートを整備し、広場の区画分けや有効利用を図るもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			3,751,000	
コスト 人件費	常勤職員		619,143		
	会計年度任用職員等		0		
	人件費合計	0	0	619,143	
	総事業費	0	0	4,370,143	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	4,370,143	
	財源合計	0	0	4,370,143	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
改修施設数		施設			2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
改修施設数		施設			2

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	砂場改修について、施設の美観向上のため、補修及び塗装も行った。	
令和3年度以降の方向性	時代のニーズに合わせ、公園の利活用を進めていく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	随時、公園利用者のあり方を検討し、進めていくこと。
------	--------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(縮小)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	012040	担当課等	公園課							
事務事業名	ナラ枯れ被害対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	ナラ枯れ被害を受けた樹木について、被害の拡散防止及び倒木による人的被害を防止するために、伐採等の対策を行うもの。								
対象	公園及び園地利用者								
内容	幕山公園及び城山園地内について、ナラ枯れ被害を受けた樹木の伐倒、燻蒸処理を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			891,000	
コスト 人件費	常勤職員		619,143		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	619,143	
総事業費	0	0	1,510,143		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	1,510,143	
財源合計	0	0	1,510,143		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
施設点検回数	被害確認	回			3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
被害樹木の伐倒処理率	安全を図るため	%			100

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	園路内のナラ枯れ被害樹木15本を伐倒、燻蒸処理した。	
令和3年度以降の方向性	管理地内にある樹木について、ナラ枯れ被害の動向に注視しながら進めていく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	被害状況を確認しながら進めていくこと。
------	--------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(縮小)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	003988	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園プール維持修繕事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	昭和 61 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て 支援	(1) 子どもたちが生き 生きと育つための 環境づくり	② 健全な遊び場や交流 の場の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	海浜公園のプールは町内で唯一のプールであり、夏季の遊び場や交流の場として運営するため維持修繕を行うもの。								
対象	プール利用者								
内容	プールを運営するため鉄部の塗装や老朽化した底板の補修など、プール全般に必要な施設の修繕を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	2,741,040	2,171,880	3,428,040	
コスト 人件費	常勤職員	633,276	649,551	619,143	
	会計年度任用職員等	0	0	0	
	人件費合計	633,276	649,551	619,143	
	総事業費	3,374,316	2,821,431	4,047,183	
財源 内訳	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他特定財源	0			
	一般財源	3,374,316	2,821,431	4,047,183	
	財源合計	3,374,316	2,821,431	4,047,183	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
開場日数	プール稼働日数	日	49	50	45
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
プール入場者	プールの有効活用	人	10,370	9,421	10,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	誰もが利用できる公園プールは、地域の住民や観光客に様々な利用をされており、夏季の子どもの遊び場として、安全安心なプール施設を維持する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	採算性を求める事業ではないが、プール施設の不備による大きな事故などはないことから、プール利用者の安全が確保されており、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	プール設備の不備による大きな事故はなく、プール利用者の安全性が確保されているため、目的に対する成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	プールは町民や観光客等誰でも利用できることから受益の機会是一定の均等が図られている。

令和元年度までの自己評価または改善点	労務単価及び設計単価が上がったことにより、平成30年度に比べ、令和元年度は、プールサイド床のノンスリップ塗装の割合が減った。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	プール施設の維持向上のため、毎年行っている塗装に加え、利用者の休憩スペースを増設する目的で、プールサイドの改修も行った。 また、換気扇の設置を始め、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行った。	
令和3年度以降の方向性	プール内部について、老朽箇所を点検したうえで、補修及び塗装を行い、今後もプール施設の維持を図る。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プール利用者の安全安心のため年度計画に沿って修繕していくこと。
------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	003996	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園プール塗装事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て 支援	(1) 子どもたちが生き 生きと育つための 環境づくり	② 健全な遊び場や交流 の場の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	塩害による施設劣化の防止及び塗装剥離による利用者への危険を防ぐため、塗装を行い、施設の維持及び利用者の安全を図るもの。								
対象	プール利用者								
内容	25mプール内の全面塗装を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			3,267,000	
コスト 人件費	常勤職員		619,143		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	619,143	
	総事業費	0	0	3,886,143	
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	3,886,143	
	財源合計	0	0	3,886,143	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
開場日数	プール稼働日数	日	49	50	45
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
プール入場者	プールの有効活用	人	10,370	9,421	10,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	維持修繕事業で行っている、底板補修の点検後、施工を行った。	
令和3年度以降の方向性	今後、管理棟等建築物の塗装を手掛けたい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プール利用者の安全・安心のため計画的に修繕していくこと。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月1日作成

事業番号	011674	担当課等	公園課							
事務事業名	総合運動公園整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	06	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	IV 計画的な土地利用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	パークゴルフ場内において、夏場の日影や休憩場所が無いことから、東屋や水飲み場のある休憩所を設置し、利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図るもの。								
対象	施設利用者								
内容	パークゴルフ場内に休憩所、水飲み場及びアプローチの手すりを設置するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			6,435,000	
コスト 人件費	常勤職員		619,143		
	会計年度任用職員等		0		
	人件費合計	0	0	619,143	
	総事業費	0	0	7,054,143	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	7,054,143	
	財源合計	0	0	7,054,143	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
アンケート調査	利用者の利便性の把握	回			1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
整備施設数		施設			1

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公園内の利便性を図り整備していくことは、施設管理者の義務である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 様々な要望がある中で整備を行ったことから、十分効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 施設利用者数が多いことから、利便性の向上を図ったことにより、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 町民や観光客等、施設利用者に対して受益の機会はある一定の均等が図られている。

令和元年度までの自己評価または改善点	手洗い場に加え、スポーツを行う施設という事を加味し、足洗い場も設けた。
--------------------	-------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	要望のあった日よけや水飲み場のある休憩所に加え、スロープの手すりの設置も行った。	
令和3年度以降の方向性	日々、利用者のニーズを把握しながら、整備を進めたい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	随時、施設利用者の意見を踏まえ、検討していくこと。
------	--------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

維持管理については、修繕等を含め計画的な整備を行う。
----------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(縮小)	
------	--------	--